

## A-1

## UIマクロ

フォーム、レポートなどのユーザーインターフェイス (UI) オブジェクトに添付されるマクロを、アクションカタログに表示される概要文とともに表にまとめました。「すべてのアクションを表示」をアクティブにしないと表示されない項目はすべてという見出しで表してあります。

フォーム、レポートなどのユーザーインターフェイス (UI) オブジェクトに添付されるマクロを、アクションカタログに表示される概要文とともに表にまとめました。「すべてのアクションを表示」をアクティブにしないと表示されない項目は**すべて**という見出しで表してあります。

## A-1-1 ウィンドウの管理

表1 ウィンドウの管理

アクション名	通常	すべて	概要
ウィンドウの移動とサイズ変更	○	○	作業中のウィンドウを移動したり、サイズを変更したりします。引数が省略された場合、現在の設定が使用されます。長さの単位には、Windowsの[コントロールパネル]で設定されている単位(センチまたはインチ)が適用されます
ウィンドウの最小化	○	○	作業中のウィンドウを最小化します。最小化されたウィンドウはMicrosoft Accessウィンドウの下端に表示されます
ウィンドウの最大化	○	○	作業中のウィンドウを最大化します
ウィンドウを元のサイズに戻す	○	○	最大化または最小化されているウィンドウを元のサイズに戻します。このアクションは、アクティブウィンドウのみ適用されます
ウィンドウを閉じる	○	○	指定されたウィンドウを閉じます。指定が省略された場合、アクティブウィンドウを閉じます

## A-1-2 システムコマンド

表2 システムコマンド

アクション名	通常	すべて	概要
Accessの終了	○	○	Microsoft Accessを終了します。保存のオプションを選択できません
SharePointのごみ箱を開く	-	○	SharePointサイトのごみ箱を表示します
SharePointリストを開く	-	○	SharePointリストを参照します
アプリケーションの実行	-	○	Microsoft ExcelやWordなどのほかのWindows対応アプリケーション、またはMS-DOS対応アプリケーションを起動します。起動したアプリケーションはフォアグラウンドで実行され、マクロは継続して実行されます
キー送信	-	○	Microsoft Accessまたは、ほかのアクティブアプリケーションにキー操作を送信します。アプリケーションでのキー入力と同じ効果があります
データベースを閉じる	○	○	カレントデータベースを閉じます
メッセージの設定	-	○	すべてのシステムメッセージの表示を制御します。マクロの実行が、作業ウィンドウを固定する警告メッセージによって中断されないようにします。ただし、エラーメッセージおよびユーザーの入力を要求するダイアログは、この設定に関係なく表示されます。メッセージボックスでEnterキーを押すこと([OK]や[はい]などをクリックすること)と同じ効果があります
印刷	-	○	アクティブデータベースオブジェクト(データシート、フォーム、レポート、モジュール)を印刷します
警告音	○	○	コンピューターの警告音を鳴らします。このアクションは、エラーや、画面表示上の大きな変更が発生したことを通知するときに使います
砂時計ポインターの表示	○	○	マクロの実行中、ポインターの形を砂時計の形(または選択した形)に変えます。マクロが終了すると、通常のポインターに戻ります

## A-1-3 データのインポート/エクスポート

表3 データのインポート/エクスポート

アクション名	通常	すべて	概要
Outlookの連絡先として保存	○	○	カレントレコードをOutlookの連絡先として保存します
Outlookの連絡先を追加	○	○	Outlookの連絡先を追加します